

【資 料】

感染症流行予測調査（平成15年度）

藤井理津志，西島倫子，濱野雅子，葛谷光隆，妹尾安裕*（微生物科）

*岡山県保健福祉部健康対策課

[キーワード：感染症，サーベイランス，ポリオウイルス]

1 はじめに

本調査は厚生労働省委託事業の感染症流行予測調査の一環として行われている。本年度岡山県ではポリオの感染源調査を実施したので、その結果について報告する。

2 材料及び方法

感染症流行予測調査実施要領（平成15年度）および伝染病流行予測検査術式（平成7年度¹⁾に従って実施した。

岡山市内のT保育園の健康な園児60人（0～1歳20人，2～3歳20人，4～6歳20人）からポリオ生ワクチン投与後2ヶ月以上経過した平成15年7月29日～8月6日の期間に糞便を採取し，FL細胞及びRD18S細胞を用いてポリオウイルスの分離を行った。

3 結果及び考察

表に年齢群別ポリオ及びその他のウイルス分離成績を示す。ポリオウイルスの分離はすべて陰性であった。その他のウイルスとしてコクサッキーウイルスA10型（CA10）2株（1歳児1人，5歳児1人），コクサッキーウイルスB2型（CB2）1株（1歳児1人），アデノウイルス2型（AD2）2株（1歳児1人，2歳児1人）及びアデノウイルス5型（AD5）

5株（0歳児2人，1歳児3人）が分離された。

CA10は岡山県内の感染症発生動向調査では8，9，1月に合計4株分離されたが，エンテロウイルスの中ではエンテロウイルス71型について多く分離された。全国的には平成15年度の分離は5～9月に多く，コクサッキーウイルスの中では報告数が最も多かった²⁾。全国的な分離状況を考えると夏期を中心として本ウイルスの広範な浸淫があったと考えられる。

AD2は岡山県内の感染症発生動向調査では12月と1月に合計3株検出され，アデノウイルスの中ではアデノウイルス3型について分離数が多かった。全国的にも平成15年度の分離は季節的な偏りなく検出され，アデノウイルスの中ではアデノウイルス3型について多く検出された²⁾。全国的な分離状況を考えると本ウイルスの広範な浸淫があったと考えられる。

文 献

- 1) 厚生省保健医療局エイズ結核感染症課・国立予防衛生研究所流行予測事業委員会：伝染病流行予測検査術式，1995
- 2) 国立感染症研究所，厚生労働省健康局，結核感染症課：病原微生物検出情報，Vol 25, No 4, 110, 2004

表1 年齢群別ポリオ及びその他のウイルス分離成績

年齢群 (歳)	検体数	ウイルス分離					合計
		ポリオ	CA10	CB2	AD2	AD5	
0～1	20	0	1	1	1	5	8
2～3	20	0	0	0	1	0	1
4～6	20	0	1	0	0	0	1
合計	60	0	2	1	2	5	10